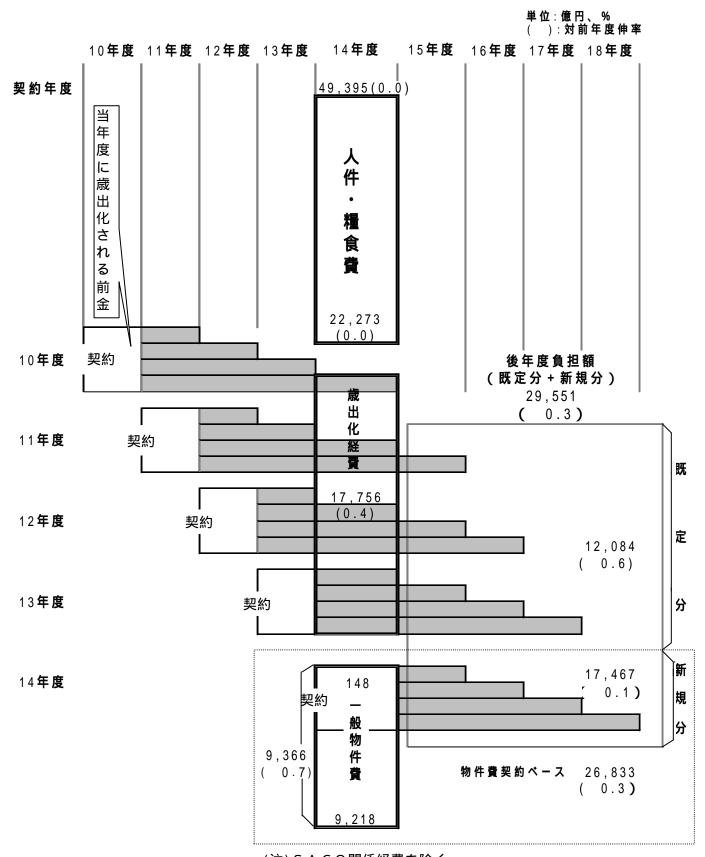
【参考資料】

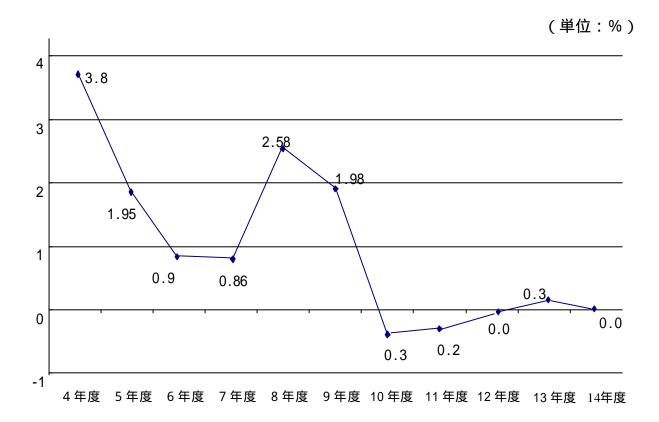
		(負)
(1)	防衛関係費の構造	2 9
(2)	伸率の推移	3 0
(3)	三分類の推移	3 1
(4)	後年度負担額	3 2
(5)	機関別内訳	3 3
(6)	正面装備予算総括表	
	陸上自衛隊	3 4
	海上自衛隊	3 5
	航空自衛隊	3 6
(7)	戦車の勢力推移	3 7
(8)	主要火砲の勢力推移	3 7
(9)	護衛艦の勢力推移	3 8
(10)	哨戒へリコプターの勢力推移	3 8
(11)	戦闘機等の勢力推移	3 9

(1)防衛関係費の構造



(注)SACO関係経費を除く。

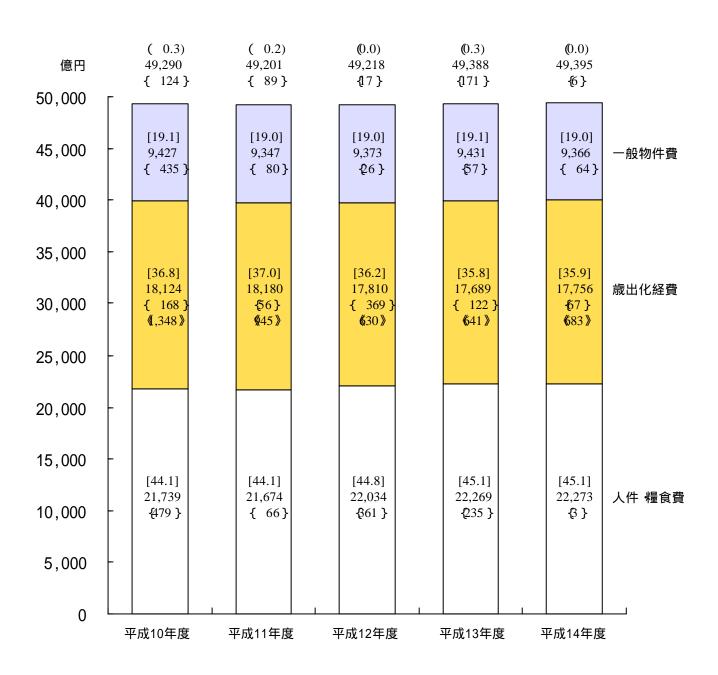
(2)伸率の推移



(注) 上記の他、平成9年度は61億円、平成10年度は107億円、平成11年度は121億円、 平成12年度は140億円、平成13年度は165億円、平成14年度は165億円のSACO 関係経費があり、これを加えた伸率は、それぞれ2.1%、0.2%、0.2%、0.1%、 0.4%、0.0%となる。

(3)三分類の推移

- ():対前年度伸率(%) []:歳出予算の構成比 { }:対前年度増 減額
- 《》:繰延べ等



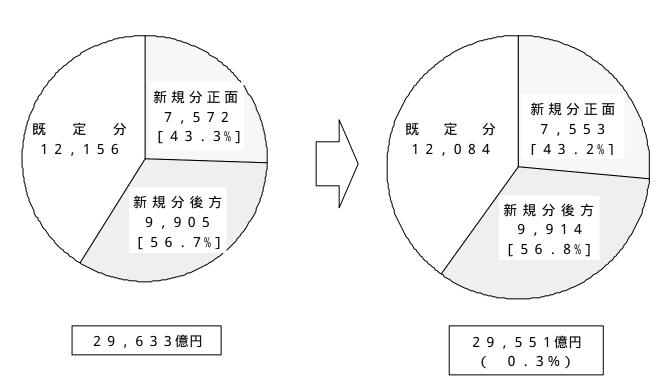
注:SACO関係経費を除く。

(4)後年度負担

単 位:億円、% ():対前年度伸率 []:新規分の構成比

〔平成14年度予算額〕

〔平成13年度予算額〕



区分	平成13年度予算額	平成14年度				
	刀 一一八八〇十尺 1/异识	予算額	増 減額	伸 率		
後年度負担額	29,633	29,551	8 2	0.3		
新規分	17,477	17,467	1 0	0 . 1		
正面	7,572	7,553	1 9	0.3		
後方	9,905	9,914	9	0 . 1		
既定分	12,156	12,084	7 1	0.6		

(5)機関別内訳

(単位:億円、%)

	(単位:			<u>:億円、%)</u>
区分	平 成 1 3 年 度 予 算 額	平 成 1 4 年 度 予 算 額		対前年度伸率
防衛関係費	49,388	49,395	6	0.0
防衛庁	49,385	49,392	6	0.0
(防衛本庁)	43,655	43,804	1 4 9	0.3
陸上自衛隊	18,682	18,677	5	0.0
海上自衛隊	11,535	11,324	2 1 0	1 . 8
航空 自衛隊	10,874	11,218	3 4 4	3 . 2
小計	41,091	41,219	1 2 9	0.3
内 部 部 局	1 3 4	1 4 2	7	5 . 2
統合幕僚会議	4 8 0	5 5 4	7 3	15.3
防衛大学校	1 7 9	1 7 9	0	0 . 1
防衛医科大学校	2 1 4	2 1 2	2	1 . 0
防衛研究所	1 8	1 7	1	5.9
技術研究本部	1,480	1,425	5 5	3.7
契 約 本 部	5 9	5 7	2	3 . 2
小計	2,564	2,584	2 0	0.8
(防衛施設庁)	5,730	5,588	1 4 2	2 . 5
安全保障会議	3	3	0	0.8

(注)上記の他、平成13年度は165億円、平成14年度は165億円のSACO関係経費がある。

(6)正面装備予算総括表 陸上自衛隊

			1 4 年 度			
	主要項目			1	 〔億円)	
	工 女 株 H	調達量	調達量	総額	後年度	
甲類	89mm 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2,800丁 1302 141 34セット 11 102 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2,948 56 193 141 23 12 18 14 14 15 16 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	10 0.16 6 9 19 6 5 66 64 14 143 7 49 18 3 2 4 5 10 6 4 1 5	10 0.16 9.19 6.5 66 64 143 7.49 18.3 2.4 5.10 6.4 1.5	
乙類	車両、通信器材、施設器材等	710億円		743	692	
航空機	戦闘へリコプター (AH-64D) 観測へリコプター (OH-1) 多用途へリコプター (UH-60JA) 多用途へリコプター (UH-1J) 輸送へリコプター (CH-47JA) 連絡偵察機 (LR-2)	- 2機 2機 6機 1機	2機 2機 2機 3機 2機 1機	120 52 71 41 106 20	120 52 71 41 106 20	
	合 計	12機	12機	409	409	
誘導弾	改良ホークの改善1 81式短距離地対空誘導弾の改善93式近距離地対空誘導弾 91式携帯地対空誘導弾 2 88式地対艦誘導弾 3 96式多目的誘導弾システム 01式軽対戦車誘導弾	0.25個群 2セット 8セット 11セット - 6セット 170セット	2242247 24247 2547 2547 242547	22 101 80 19 30 34 65	22 101 80 19 30 34 65	

(注)調達量:各年度に新たに契約する量

(取得までに要する期間は装備品によって異なり、2年から4年までの間) 1:改良ホークの金額は、誘導弾の改善に要する経費等である。

2:91式携帯地対空誘導弾の金額は、ヘリコプター搭載用の誘導弾の整備に要する 経費等を含む。

3:88式地対艦誘導弾の金額は、訓練用ミサイルの整備に要する経費等である。

海上自衛隊

		13年度	1	4 年度	
	主 要 項 目	調達量調達量	细 读 島	金額(億円)	
			神 凭 里	総額	後年度
	護衛艦(DD)	1隻	-		
艦	護 衛 艦 (DDG)	-	1隻	1,475	1,453
	潜水艦 (SS)	1隻	1隻	458	458
	掃 海 艇 (MSC)	2 隻	1隻	132	132
	ミサイル艇 (PG)	2 隻	-		
艇	補 給 艦 (AOE)	1隻	-		
	多用途支援艦 (AMS)	2隻	-		
	合 計	9隻	3 隻	2,065	2,043
	哨戒ヘリコプター(SH-60J)	3 機	-		
航	哨戒ヘリコプター(SH-60K)	-	7 機	422	422
	救難飛行艇(US-1A)	-	1機	78	78
	救難ヘリコプター(UH-60J)	1 機	-		
空	計器飛行練習機(TC-90)	-	1 機	8	8
	初級操縦練習ヘリコプター(OH-6DA)	-	2 機	6	6
1414	電子戦データ収集機(EP-3)の改善 1	(1機)	-		
機	合 計	4 機	1 1 機	515	515
	P - 3 C の画像情報収集機への改修	1 機	1 機	20	20

(注)調達量:各年度に新たに契約する量

(取得までに要する期間は装備品によって異なり、2年から5年までの間)

1:電子戦データ収集機(EP-3)の改善については、既就役機の改善に係る事業であるため、機数の合計には含まない。

航空自衛隊

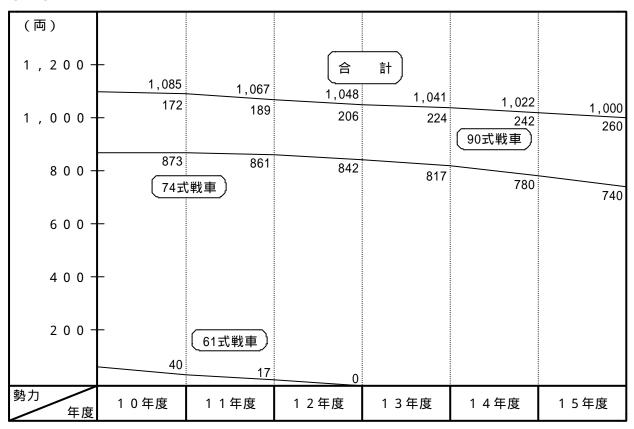
	主 要 項 目	13年度	1 4 年度			
			調達量	金 額(億円)		
				総額	後年度	
# 7 -	支援戦闘機(F-2)	1 2 機	8 機	962	962	
航	輸送へリコプター(CH-47J)	1機	2 機	72	72	
	ボーイング767空中給油・輸送機	-	1機	241	241	
空	救難捜索機(U - 1 2 5 A)	1機	-	_	_	
	救難ヘリコプター(UH‐60J)	2 機	1機	43	43	
+414	新初等練習機	 11機	10機	25	25	
機	輸送機・救難機等基本操縦練習機	_	1機	21	21	
	(T-400) E-2Cの改善1	(2機)	(0.5機)	34	34	
	合 計	2 7 機	2 3 機	1,398	1,398	
誘導	地対空誘導弾(ペトリオット) 2	-	-	174	171	
弾 等	ペトリオットの改善	2 個群	2 個群	204	203	

(注)調達量:各年度に新たに契約する量

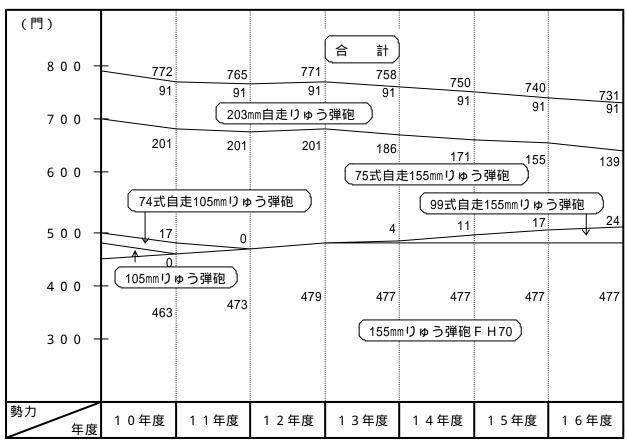
(取得までに要する期間は装備品によって異なり、2年から5年までの間)

- 1:E-2Cの改善については、既就役機の改善に係る事業であるため、機数の合計には含まない。
- 2:地対空誘導弾の金額は、射耗用ミサイルの整備に要する経費等である。

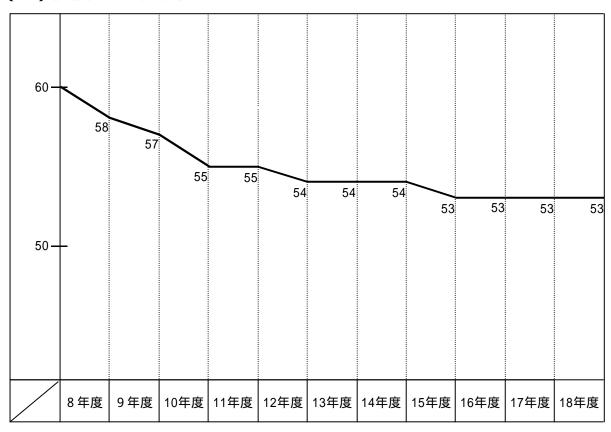
(7)戦車の勢力推移



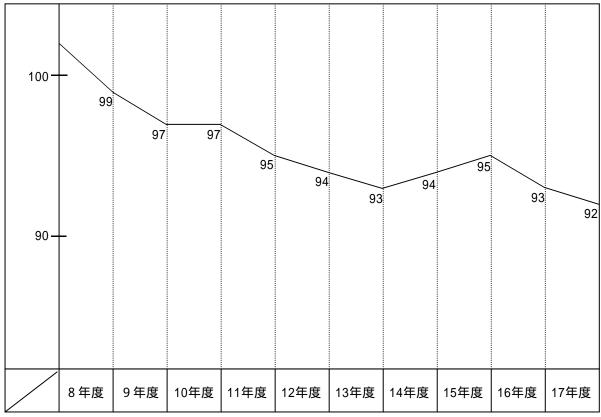
(8)主要火砲の勢力推移



(9)護衛艦の勢力推移

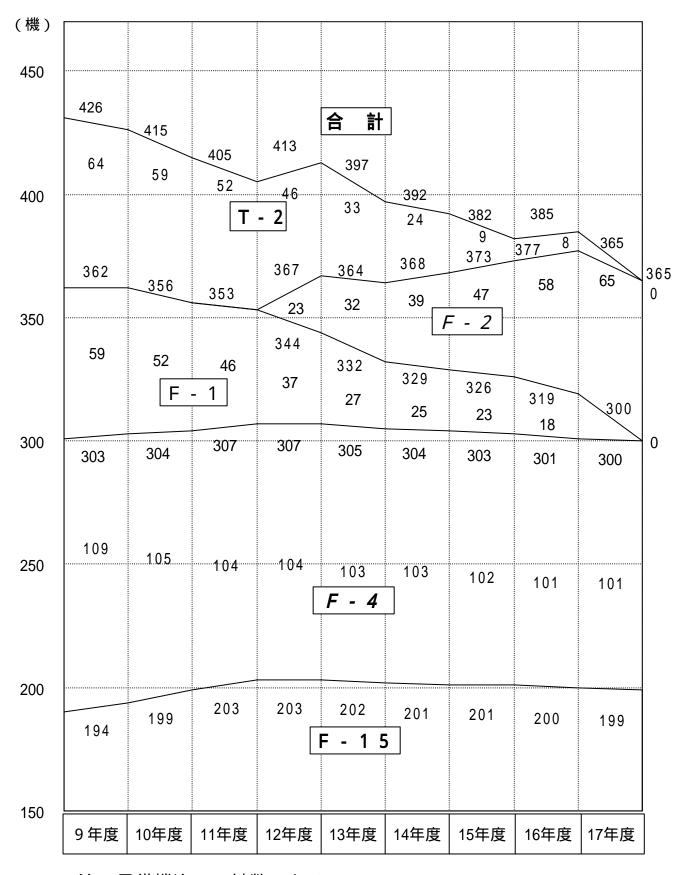


(10)哨戒ヘリコプターの勢力推移



(注) 予備機込みの計数である。

(11) 戦闘機等の勢力推移



(注)予備機込みの計数である。